

第 99 回秋のすぎなみ区民歩こう会 ワンポイントガイド

小田原と聞けば何を連想しますか。お城、ちょうちん、蒲鉾、金太郎、箱根駅伝・・・。これらに思いをよせ、豊かな自然、歴史や文化の香りを感じながら、小田原周辺の丘陵地帯を散策しませんか。起伏に富んだハイキングコースです。一部勾配のきつい所もありますが、ゆっくりペースで楽しく歩きましょう。ビューポイントでは、眼下に市街地、相模湾、丹沢山系の眺望にきっと心が癒されることでしょう。

1. 県立おだわら諏訪の原公園・フラワーガーデン



・**諏訪の原公園**: 65ha の都市公園。平成 18 年(2006)一部開園。全長 169m のローラー滑り台、展望広場にある大型遊具が人気。「展望広場」から、丹沢の山並みを背景に足柄平野が一望。

・**フラワーガーデン**: 花と緑のオアシス「フラワーガーデン」4.2ha は平成 7 年(1995)オープン。メイン施設のトロピカルドーム温室(隣のごみ焼却施設の余熱利用)内には、200 種の熱帯・亜熱帯の果実や花木が常時楽しめる。敷地内には多くのバラや 200 種、400 本余の梅林があり壮観。10 月の花ごよみは「秋ばら」

2. 久野古墳群・龍泉寺観音堂



・**久野古墳群**: 古墳時代後期(6~7 世紀)の高塚式円墳が 120 基程ある古墳集落地。1 号墳は百塚の王といわれ、円構を含めて直径 40m、足柄豪族の墓。15 号墳は発掘調査のあと、復元されて見学出来る。

・**龍泉寺・観音堂**: 開山は 1555 年。本尊は十一面観音。左に薬師如来と十二神将、右に隠れキリシタンの伝説もあるマリア観音、びんずる、石地蔵を安置。境内には寒念仏供養塔が 9 基並んでおり、非常に珍しい。

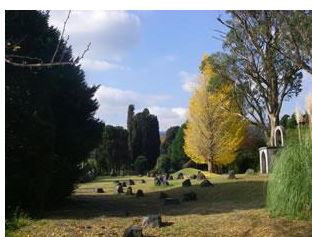
3. いこいの森・わんぱくらんど(こどもの森公園)



・**いこいの森**: 豊かな森、清流、きれいな空気など、自然に接しながらキャンプ場、バーベキュー、木工芸体験、森林浴などを楽しめる。約 27ha。

・**わんぱくらんど**: 平成 22 年全面開園。起伏に富んだ地形を生かした豊かな自然環境の中で、子供達が体を動かして、自由にのびのびと遊ぶ事が出来る。公園内には、子供達に大人気の「ロードトレイン・わくわく号」や「こども列車・なかよし号」に乗ったり、動物達に触れたり乗ったり出来る。また、スリル満点の 67m 揺れるつり橋や小田原城アドベンチャー、ターザン広場等、魅力的遊び場満載。

4. 辻村植物園



明治 40 年代に地元の素封家辻村氏によって開かれた梅園農園が前身。当時は西洋草花を主に扱う先進的な農園。諸外国から樹木の種を取り寄せて、庭園や公園樹木の試作を行う。今でも園内には、地中海原産の「ホソイトスギ」やオーストラリア原産の「ユーカリ」、世界の草花など、ちょっとした異国情緒にひたれる。園内の主力植物は 560 本の梅園、樹齢 90 年の木も立派な花を咲かせている。公園面積 4.7ha。平成 2 年開園。

5. 水之尾の毘沙門天



水之尾毘沙門天は、小田原城の石垣を工事中、石から血が流れたし、それを鎮めるため元禄 15 年(1702)に建立された。毘沙門天は、多聞天ともいい、仏教での四天王・十二天の一人で北方を守護する神。日本では福や財をもたらす神としても信仰され、七福神の一人とされる。仏法を守護し、福德を授ける小田原城の北の守り神。

6. からたちの花の小径



明治 18 年(1885)福岡県柳川で生まれた北原白秋は、大正 7 年(1918)から大正 15 年(1926)までの 8 年間を小田原で過ごした。白秋は散策しながら、生涯で創作した童謡 1200 編のうち、約半数はこの地で作られている。白秋の代表作、「からたちの花」は幼児期の追憶や水之尾道で見た、からたちの花が縁で大正 13 年(1924)の作(作曲;山田耕筰)。市は当時の水之尾道の一部を、白秋童謡の散策路、「からたちの花の小径」として整備。「からたちの花」の歌詞の内容は、山田耕筰と北原白秋の人生経験に根ざしたもので、単純な自然描写ではなく、「からたちの花」に託した叙情詩。

7. 小峰御鐘ノ台大堀切



戦国時代、北条氏が秀吉の攻撃に対し、小田原城防衛のため築いた堀の中で、その形を今日まで伝えている重要な遺構。本丸と続く八幡山丘陵の尾根を分断して構築。東堀は幅が約 20~30m、深さは約 12m あり、堀の法面は 50 度と急で、空堀としては最大規模。国の指定史跡。

8. 報徳二宮神社



江戸時代後期の農政家、思想家である二宮尊徳(にのみや・たかのり/そんとく)を明治 27 年(1894)祀った神社。尊徳は報徳思想を唱えて、儉約によって農村を立直し、各地に農村の復興を指導。勤勉、努力を藩主に認められ、武士に取り立てられる。勤勉の姿勢が生徒の手本と、各地小学校に銅像が建立された。

9. 小田原城



天正 18 年(1590)秀吉に滅ぼされるまで、北条の租、早雲から 5 代の居城。戦国時代下剋上のはしりで勢力を伸ばした早雲(1432~1519)は、司馬遼太郎の小説「箱根の坂」で紹介。明治まで、270 年間、徳川家臣大久保氏城主、(途中 70 年間春日局の孫、稲葉氏)。3 層 4 階の城は、明治 3 年(1870)廃城となり大正 12 年(1923)の関東大震災により御用邸のほか石垣もほぼ全壊。昭和 35 年(1960)に天守閣が復興。平成 28 年(2016)に大改修終了。